外来患者がふだん医療機関にかかる時の情報の入手先は、家族・友人・知人の口コミがどの年齢でも 64.4〜70.6 % でいちばん多く、インターネットは年齢で開く（医療機関の発信 0〜14 歳 46.6 %・75 歳以上 13.8 %）——病院を選んだ理由は逆に病院の種類で開き、医師による紹介は特定機能病院 72.2 %・小病院 19.7 %（3.665 倍）で、年齢では 1.178 倍しか開かない [M089]

項目の開き ＝ 年齢での開き と 病院の種類での開き ── 分けるのは、年齢で分かれるか、病院の種類で分かれるか

山岸 勇輝（Yuuki YAMAGISHI）／ Independent Researcher
ORCID 0009-0006-8587-3450
2026 年 9 月 ／ CC BY 4.0

要旨

厚生労働省の受療行動調査（2023 年）の基本集計 第2表（病院を選んだ理由）と第4表（ふだん医療機関にかかる時の情報の入手先）で、一般病院の患者が何を見て病院を選び、どこから情報を得ているかが、年齢と病院の種類でどう違うかを見た。新しい数学定理も新しい法則も主張しない。

第一に、表はそろっている。どの行も、ある ＋ 特にない ＋ 不詳 は 100 と丸めの差 0.1 以内で一致する。どちらも複数回答で、項目の割合の分母は「情報を入手している」「病院を選んだ理由がある」と答えた人である（第3節）。

第二に、**外来で情報を入手している人（80.9 %）の入手先は、どの年齢階級でも家族・友人・知人の口コミがいちばん多く、64.4〜70.6 % でほとんど動かない。一方、医療機関が発信するインターネットの情報は 0〜14 歳の 46.6 % から 75 歳以上の 13.8 % へ、それ以外のインター**

ネットの情報（SNS など）は 35.9 % から 7.4 % へ下がり、医療機関の相談窓口は 15〜39 歳の 6.0 % から 75 歳以上の 21.2 % へ上がる（第4節）。

第三に、**外来の病院を選んだ理由は、医師による紹介が総数で 40.9 % といちばん多いが、特定機能病院の 72.2 % から小病院の 19.7 % まで病院の種類で 3.665 倍開き、年齢では 39.3〜46.3 %（1.178 倍）しか開かない。小病院と療養病床を有する病院では、いちばん多い理由が交通の便がよい（32.5 %・38.6 %）に替わる**（第5節）。

第四に、ここが本稿の芯である。**項目ごとに「5 つの年齢階級での開き（最大 ÷ 最小）」と「5 つの病院の種類での開き」を比べると、外来の情報の入手先は 10 のうち 9 で年齢のほうが大きく、外来の病院を選んだ理由は 7 のうち 6 で病院の種類のほうが大きい。** 例外は口コミ（年齢 1.096・病院の種類 1.111 で、どちらも 10 の入手先でいちばん小さい）と建物・設備（1.635 と 1.617 でほぼ同じ）である（第6節）。

第五に、**入院では、情報の入手先は 10 のすべてで年齢のほうが大きいが、病院を選んだ理由は 7 のうち 4 で年齢のほうが大きく、外来のようにはきれいに分かれない**（第7節）。

第六に、分けるのは**年齢で分かれるか、病院の種類で分かれるか**である。「病院の選び方」と一括りにされる二つのうち、どこから情報を得るかは人の年齢で分かれ、何を理由に選んだかはどの種類の病院にいるかで分かれる。口コミだけは、どちらでもほとんど動かない。

射程注記：本稿は新しい数学定理も新しい法則も主張しない——病院を選んだ理由と情報の入手先は公開の表にあり、本稿は項目ごとに年齢と病院の種類での開きを比べただけである。**本稿は公開の集計データの数の形を述べる構造的解釈であり、医学的な助言・診断・治療の推奨ではない。著者は医師ではない。個人の健康に関する判断は医師・医療機関に相談すること。査読を経ていないプレプリントである。 どの情報源がよいか、どの病院をどう選ぶべきか、病院や医師・病院の種類の良し悪しには立ち入らない。** 個々の病院は比べない。病院の種類は、項目がどこで分かれるかを見るためだけに使う。回答は複数回答で、項目の割合の分母は「ある」と答えた人である。年齢で分かれる理由も、病院の種類で分かれる理由も、この表では分けられない（病院の種類ごとに患者の年齢の構成も違う）。0〜14 歳の患者の回答が誰によるものかは、表からは分からない。対象は一般病院の患者で、診療所は入らない。**データについて**：受療行動調査（厚生労働省）は e-Stat から取り、政府標準利用規約（第2.0版）に従って使い、本稿の比は、これを加工して作成した。本稿が加えたこと：**複数回答の各項目を「年齢での開き」と「病院の種類での開き」の二つで測り、外来では情報の入手先が年齢で、病院を選んだ理由が病院の種類で分かれること、口コミだけはどちらでもほとんど動かないことを示した**こと。

---

1. 記号と問い

- **情報の入手先**：ふだん医療機関にかかる時の情報の入手先（複数回答）。割合は「情報を入手している」人を 100 とする。
- **病院を選んだ理由**：今回の病院を選んだ理由（複数回答）。割合は「病院を選んだ理由がある」人を 100 とする。
- **開き**：ある項目の割合の、5 つの年齢階級での最大 ÷ 最小と、5 つの病院の種類での最大 ÷ 最小。

問い：人は何を見て病院を選び、どこから情報を得ているのか。それは年齢で分かれるのか、どの種類の病院にいるかで分かれるのか。

観察 1.1：M088 は、同じ受療行動調査で、初めて医師に診てもらった時の自覚症状と受診までの期間を見た。本稿は、同じ調査で、病院にたどり着くまでの情報と選ぶ理由を見る。

---

2. 下見と設計

正直に書く：設計は表を見てから決めた。

	内容
表	受療行動調査 令和5年 基本集計 第2表（病院を選んだ理由・複数回答）・第4表（情報の入手先・複数回答）。どちらも外来 − 入院 × 病院の種類 × 性 × 年齢階級
下見で気づいたこと	情報の入手先は年齢で大きく動き（ネットの情報）、病院を選んだ理由は病院の種類で大きく動いた（医師による紹介・交通の便）。そこで項目ごとに、年齢での開きと病院の種類での開きを並べた
比べ方	外来の年齢別の入手先、病院の種類別の理由、項目ごとの二つの開き、入院で同じ比べ方

---

3. データと確かめ

計算 3.1 取得したファイル 2 本を SHA-256 で固定し、次を確かめた。

- 2 つの表は令和5年・2023年・単位は %。第4表は 10 の入手先、第2表は 7 つの理由。
- 行は、外来・入院 × 6 つの病院の種類（総数・特定機能病院・大病院・中病院・小病院・療養病床を有する病院）× 性 × 年齢階級。
- ある ＋ 特にない ＋ 不詳 − 100 は、どちらの表も最大 0.1（丸め）。項目の割合の分母は「ある」と答えた人（その列が 100.0）。

---

4. 情報の入手先（外来）

計算 4.1 年齢階級ごとの入手先（外来・情報を入手している人を 100 とする・%）

入手先	0〜14 歳	15〜39 歳	40〜64 歳	65〜74 歳	75 歳以上	年齢での開き
家族･友人･知人の口コミ	70.6	64.4	66.7	70.4	68.6	1.096
医療機関のネット情報	46.6	44.3	44.2	24.9	13.8	3.377
それ以外のネット情報	35.9	36.1	29.0	12.2	7.4	4.878
医療機関の相談窓口	8.2	6.0	9.3	15.6	21.2	3.533
行政機関のネット情報	8.1	5.9	5.8	3.2	2.2	3.682

観察 4.2：どの年齢階級でも、いちばん多い入手先は家族・友人・知人の口コミで、**64.4〜70.6 %** とほとんど動かない。医療機関のネット情報は年齢とともに **46.6 %** から **13.8 %** に、それ以外のネット情報（SNS・電子掲示板・ブログを含む）は **15〜39 歳**の **36.1 %** から **75 歳以上**の **7.4 %** に下がり、医療機関の相談窓口は **15〜39 歳**の **6.0 %** から **75 歳以上**の **21.2 %** に上がる。 情報を入手している人の入手先の数の平均は、0〜14 歳の 1.885 から 75 歳以上の 1.438 に下がる。外来で情報を入手している人は 80.9 %、特に入手していない人は 16.2 % である。

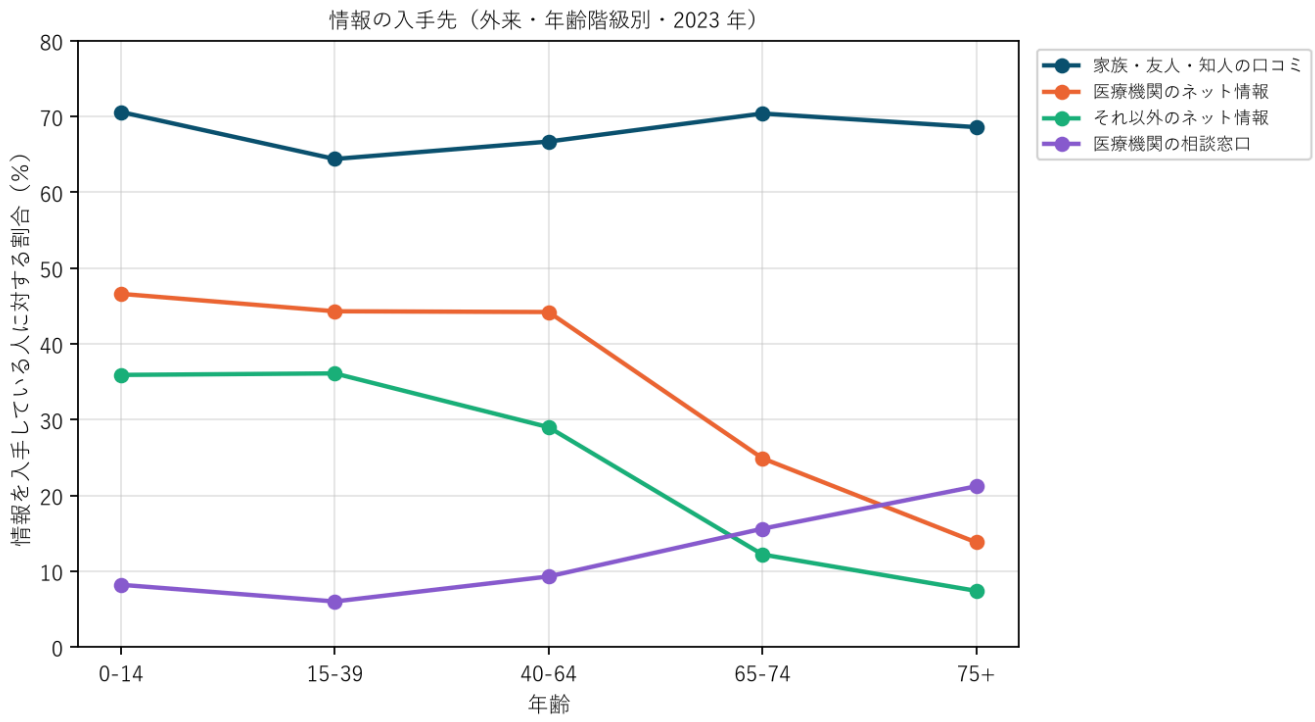


図1：情報の入手先（外来・年齢階級別・2023 年）。紺が口コミ、橙が医療機関のネット情報、緑がそれ以外のネット情報、紫が医療機関の相談窓口。

---

5. 病院を選んだ理由（外来）

計算 5.1 病院の種類ごとの理由（外来・理由がある人を 100 とする・%）

理由	特定機能病院	大病院	中病院	小病院	療養病床を有する病院	病院の種類での開き
医師による紹介	72.2	60.7	40.4	19.7	23.4	3.665
交通の便がよい	11.0	19.4	28.6	32.5	38.6	3.509
専門性が高い医療	34.2	30.7	22.5	26.1	17.7	1.932
家族･友人･知人のすすめ	9.2	9.6	14.0	24.6	19.1	2.674
医師や看護師が親切	6.6	8.6	13.4	18.4	19.0	2.879

観察 5.2：**医師による紹介は、特定機能病院の 72.2 % から小病院の 19.7 % まで 3.665 倍開くが、年齢では 39.3〜46.3 %（1.178 倍）しか開かない。いちばん多い理由は、特定機能病院・大病院・中病院では医師による紹介、小病院と療養病床を有する病院では交通の便がよい（32.5 %・38.6 %）である。** 外来で病院を選んだ理由がある人は 93.3 %、特に理由はない人は 4.6 %。

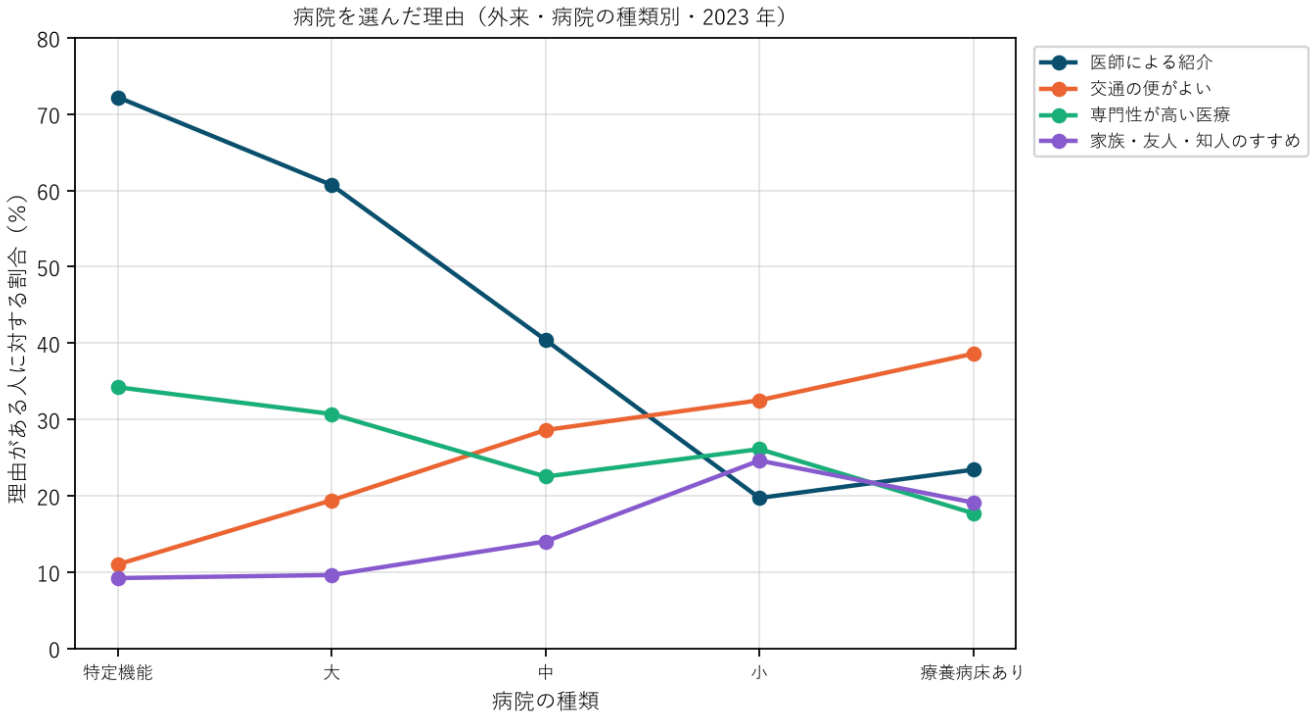


図2：病院を選んだ理由（外来・病院の種類別・2023 年）。紺が医師による紹介、橙が交通の便がよい、緑が専門性が高い医療、紫が家族・友人・知人のすすめ。

---

6. 芯——年齢で分かれるか、病院の種類で分かれるか

計算 6.1 項目ごとの開き（外来・最大 ÷ 最小）

項目	年齢での開き	病院の種類での開き	大きいほう
入手先：それ以外のネット情報	4.878	1.596	年齢
入手先：医療機関の相談窓口	3.533	1.473	年齢
入手先：医療機関のネット情報	3.377	1.431	年齢
入手先：医療機関の広告	1.537	1.163	年齢
入手先：家族・友人・知人の口コミ	1.096	1.111	病院の種類
理由：医師による紹介	1.178	3.665	病院の種類
理由：交通の便がよい	1.452	3.509	病院の種類
理由：医師や看護師が親切	2.035	2.879	病院の種類
理由：専門性が高い医療	1.506	1.932	病院の種類
理由：建物・設備	1.635	1.617	年齢

観察 6.2：外来の情報の入手先は 10 のうち 9 で年齢での開きのほうが大きく、外来の病院を選んだ理由は 7 のうち 6 で病院の種類での開きのほうが大きい。 表は 17 の項目のうち 10。例外は口コミ（年齢 1.096・病院の種類 1.111 で、どちらも 10 の入手先でいちばん小さい）と建物・設備（1.635 と 1.617）で、どちらも二つの開きの差が小さい。

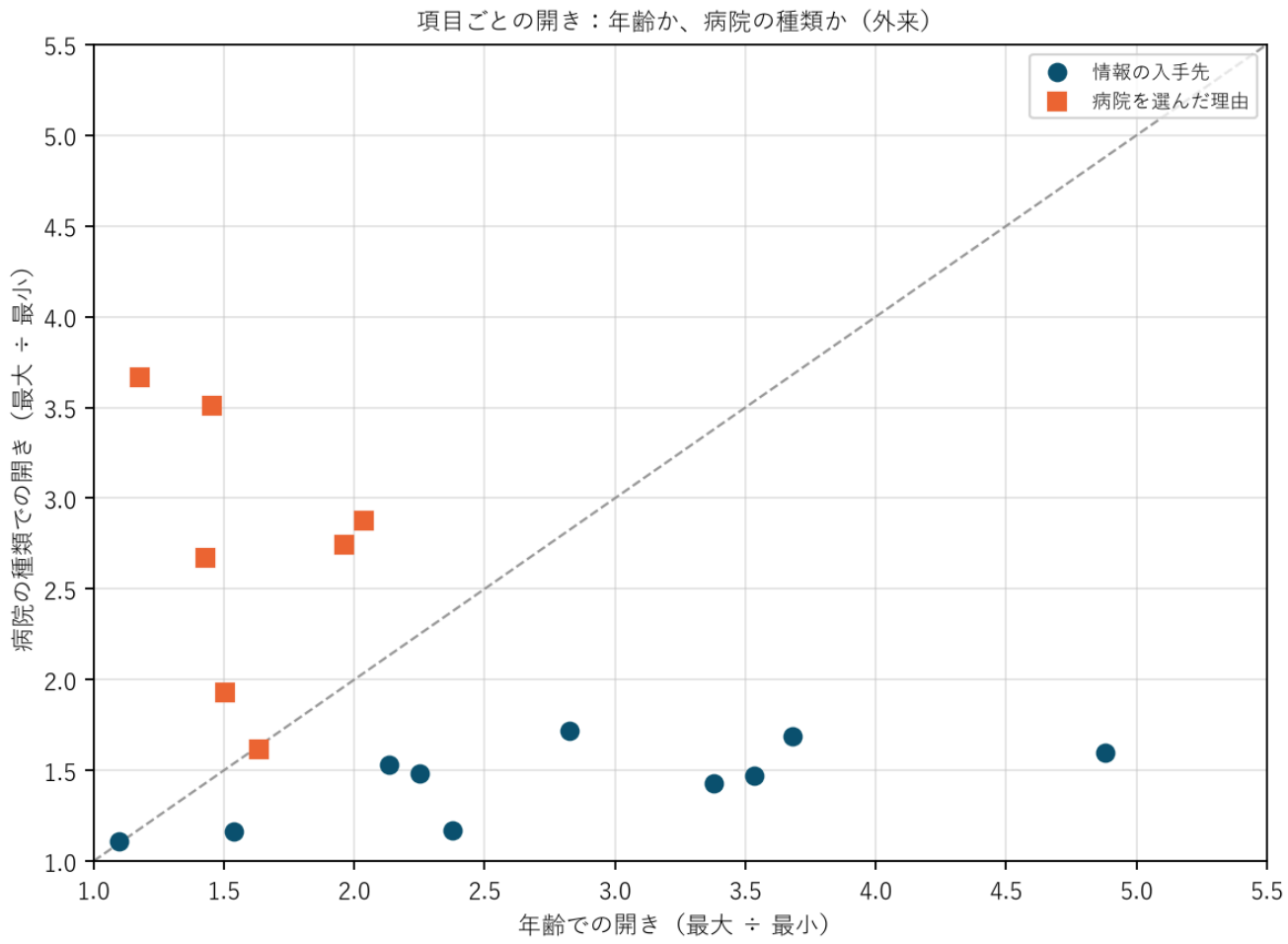


図3：項目ごとの、年齢での開き（横）と病院の種類での開き（縦）（外来）。紺が情報の入手先、橙が病院を選んだ理由。破線より下は年齢のほうが、上は病院の種類のほうが大きい。

---

7. 入院

観察 7.1：**入院では、情報の入手先は 10 のすべてで年齢での開きのほうが大きい。病院を選んだ理由は、7 のうち 4（家族・友人・知人のすすめ・交通の便がよい・医師や看護師が親切・建物・設備）で年齢のほうが大きく、3（医師による紹介・専門性が高い医療・その他）で病院の種類のほうが大きい。** 外来のようにはきれいに分かれない。入院の医師による紹介は総数で 55.3 %（外来 40.9 %）、0〜14 歳で 69.3 % である。

---

8. 限界

1. **年齢で分かれる理由も、病院の種類で分かれる理由も、この表では分けられない。** 病院の種類ごとに患者の年齢の構成も違うので、二つの開きは互いに独立ではない。
2. 回答は複数回答で、項目の割合の分母は「ある」と答えた人である。開きは 5 つの階級の最大÷最小で、割合の小さい項目は丸めで動きやすい。
3. 0〜14 歳の患者の回答が誰によるものかは、表からは分からない。
4. 対象は一般病院の患者で、診療所は入らない。
5. どの情報源がよいか、どの病院をどう選ぶべきか、病院や医師の良し悪しには立ち入らない。

結び

外来患者の情報の入手先は、家族・友人・知人の口コミがどの年齢でも 64.4〜70.6 % でいちばん多く、インターネットの情報は年齢とともに下がった。病院を選んだ理由は、医師による紹介が特定機能病院 72.2 %・小病院 19.7 % と病院の種類で 3.665 倍開き、年齢では 1.178 倍しか開かなかった。項目ごとに比べると、外来の入手先は 10 のうち 9 で年齢のほうが、理由は 7 のうち 6 で病院の種類のほうが大きく開いた。

分けているものは一つ——年齢で分かれるか、病院の種類で分かれるか。

「みんなどうやって病院を選んでいるのか」と聞いたら、**情報をどこから得るかの話か、何を理由に選んだかの話かを、一緒に確かめる。**

データと再現

データ	受療行動調査 令和5年 基本集計 第2表・第4表（厚生労働省・e-Stat）（2026 年 9 月 26 日に取得）
利用条件	e-Stat は政府標準利用規約（第2.0版）に従う。本稿の比は、これを加工して作成したもので、国が作成した数ではない
範囲	日本・一般病院の外来と入院の患者・2023 年
検算	`検算/M089.py`（`--zu` で図も書く）。本文の数字はすべて `検算/M089_output.txt` から取った
生データ	`data/` に取得したファイルと `SOURCES.md`（URL・取得日・SHA-256・利用条件・定義と計算の置き方）
図	`図/M089_zu1`・`図/M089_zu2`・`図/M089_zu3`（png・svg・英語版）

参考文献

- 厚生労働省. 受療行動調査 令和5年 基本集計 第2表・第4表. e-Stat（2026年9月26日に利用）. https://www.e-stat.go.jp/
- 山岸勇輝 (2026). 初めて医師に診てもらった時に自覚症状がなかった外来患者は 28.1 % で、がんでは前立腺 65.3 %・肺 64.4 % から子宮 31.6 % まで開く——受診までの期間は、自覚症状があった人では 24 時間未満と 3 か月以上の両端が真ん中とほぼ同じ厚さ（両端 ÷ 真ん中 0.958）で、なかった人では 1 週間〜3 か月未満の真ん中に集まる（0.350） [M088]. Zenodo（未公開）.